

# 復興コミュニティデザイン

東北工業大学 新井信幸研究室

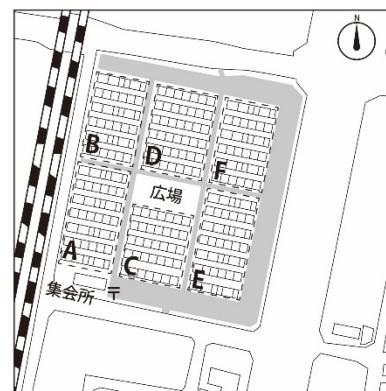
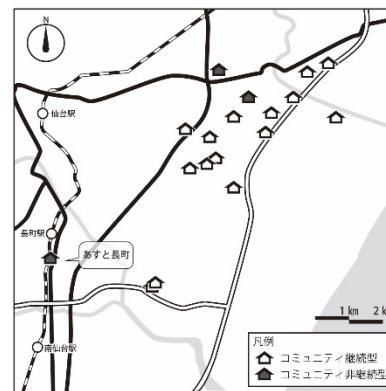
～あすと長町での取り組み～

2011.4 あすと長町仮設住宅入居開始  
2011.8 運営委員会発足  
2012.3 仮設住宅自治会発足

仙台市・あすと長町仮設住宅は、多様な地域から個別に入居する世帯がほとんどで単身高齢者も多く、当初は孤独死が懸念され、住民間のトラブルも頻繁した。それでも居住者同士で、コミュニティを形成していき、暮らしやすい環境をつくっていき、その際、多数のクラブ活動の形成によって、楽しみあいながら支え合う関係がつくられていった。自治組織は時間をかけて信頼醸成し、約1年後に正式結成となった。



仮設住宅でのクラブ活動（左）、広場の屋台カフェ（右上）、集会所でのおしるこカフェ（右下）



あすと長町仮設位置図（上左）、全景写真（上右）、配置図（下左）、周辺図（下右）

2012.6 コミュニティ構築を考える会発足  
2012.7 復興公営住宅提案づくり（ワークショップ）開始  
2013.3 復興公営住宅提案不採択  
2014.10 80世帯コミュニティ入居決定

入居から1年後、復興公営住宅への入居意向調査が実施され、それを契機に、育まれたコミュニティを継承する取り組みを開始した。「コミュニティ構築を考える会」を発足させ、大学等の支援を受けて、復興公営住宅の提案づくりを行っていったが結果は不採択となった。しかし、近傍3箇所に復興公営住宅へ約80世帯が転居することができた。



あすと長町地区に建設された復興公営住宅。左から第一・第二・第三。



復興公営住宅提案図面（上左）、コミュニティ入居の報道（上右）、これからの暮らしのあり方を検討 WS（下左）、間取りの計画について意見交換（下右）



2015.4- 卒居式、復興公営住宅へ転居開始  
2015.7 ウェルカムマップ完成  
2015.9- 第一～三復興世話人会の連携支援  
2015.11 支援団体交流会、まち歩き

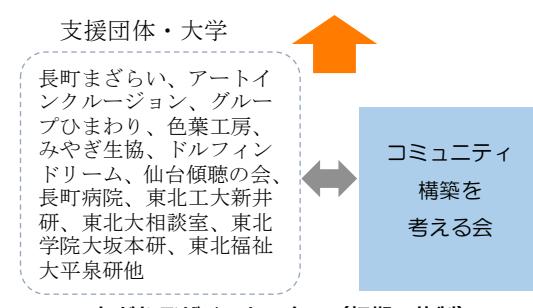
転居後は3/4の居住者が他地域からの個別入居であったことから、新たなコミュニティ形成に向けて、当団体が3つの復興公営の世話人たちの連携を支援し始めた。集会所の新たな運営、共助体制づくりを進めている。



支援団体交流会 2015.11.22@第一復興公営（左）、ウェルカムマップづくり WS2014.12.13（中）、完成したマップ（右）

2016.10 つながりデザインセンター・あすと長町設立  
11 あすと食堂開店  
2017.2 テクノ仮設住宅（益城町）支援開始  
4 清水沢東災害公営住宅（塩竈市）支援開始  
6 玉浦西災害公営住宅（岩沼市）支援開始

あすと長町地区  
第1・2・3復興公営住宅+仮設住宅



つながり  
つなセン  
TSUNAGARI Design Center

## あすと食堂の実績

2016.11/19 ハンバーグ	: ほっと亭
12/13 カレー	: Gひまわり
12/19 ちゃんこ鍋	: 菱沼
2017.1/21 手打そば	: KABO
1/31 おでん	: Gひまわり
2/11 煮豚	: ざわざわキッチン
2/18 ミートボール	: @グリーン
3/10 餅つき	: ほっと亭
3/18 ちらし寿司	: 仙台白百合大
4/ 9 中華飯	: Gひまわり
4/ 16 白身魚	: 仙台白百合大
4/ 22 豆カレー	: ほっと亭
5/ 7 おからハンバーグ	: 仙台白百合大
5/20 たけのこづくし	: 丸森キッチン
5/27 第三	: Gひまわり



あすと食堂のハンバーグ定食、



支援の様子。左からテクノ仮設住宅、清水沢東災害公営住宅、玉浦西災害公営住宅